

葉 知事「偽装モリモリ」

千 企業献金疑惑など 県民らシンポ

千葉県の森田健作知事の違法献金疑惑などの政治責任を追及する「偽装モリモリ」シンポが二十三日、千葉県教育会館で開かれ、約七十人が参加しました。主催は、森田知事の政治責任を追及する会。

森田氏が自民党東京都衆議院選挙区第二支部長でありながら三月の知事選で「完全無所属」と宣伝した虚偽疑惑、外資系企業からの違法献金や自民党支部を通じた迂回（うかい）献金を受けた疑惑などを論議しました。会の呼びかけ人代表の三輪定宣・千葉大名誉教授が開会あいさつ。松

本悟会事務局長が司会し、岩橋進吾弁護士（自由法曹団千葉支部事務局長）、日本共産党の小松実県議団長、「しんぶん赤旗」の岡部裕三記者がパネリストを務めました。

岩橋氏は、森田氏の自民党支部が受けた企業・団体献金の大半を同氏の資金管理団体に流していたしくみや、県民が告発した公選法違反と政治資金規正法違反容疑を説明。法的問題と政治的責任を一体として追及したいと強調しました。

小松氏は、当選以降、一連の疑惑に一切の反省や謝罪の

ない森田知事の姿勢を批判。四月の臨時議会で党派を超えて百条委員会の設置・疑惑解明などを求めた党県議団の活動を紹介、これを拒否した自公両党を批判しました。

岡部氏は、森田氏の疑惑を真つ先に報じた「しんぶん赤旗」の記事を紹介し、自民党支部と資金管理団体が四年間に一億八千万円余の企業・団体献金を集めた実態を説明。森田知事は県民にきちんと説明し、謝罪すべきだと語りました。

参加者からは「森田氏は金のために政治をしているのか」など質問や怒りの声が出されました。

「しんぶん赤旗」09年
5月24日付から転載